

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（8月）

留学先：The University of Findlay

氏名：渡辺夏実

● 自己紹介

はじめまして。教育学部中等教育コース英語科4年の渡辺と申します。この度2019年8月から2020年5月の約9か月間、交換留学生として、アメリカはフィンドレー大学に1年間留学させていただくことになりました。将来英語教員を目指す者として、この留学がその軸となるよう精進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

今回から始まる月例報告書では、主にアメリカでの生活や大学での活動について記していきたいと思っております。第1回目の報告書ということもあり、拙いところもあるかとは思いますが、最後まで読んでいただければ幸いです。



● 留学先大学紹介（フィンドレー大学）

私の留学先であるフィンドレー大学は、アメリカ合衆国オハイオ州のフィンドレーという町にあり、約3000人の学部生が在籍しています。フィンドレー大学はとてものどかな町でどことなく福井を想像出来るような雰囲気だと個人的には感じています。キャンパス内は自然豊かで、リスやウサギをよく見かけることがあります。また、フィンドレーはかつて石油産業で栄えていたということもあって、大学では学生のことを **Oiler** と呼び、大学のマスコットキャラクターにもそのモチーフが使われています。アメリカの大学の中では小規模な大学に分類されるフィンドレー大学ですが、敷地内には学生の寮やシェアハウス、食堂、カフェ、ジム、図書館など多くの建物があります。どの施設も朝早くから夜遅くまで利用可能なので、学生が生活するには十分すぎる環境が整えられています。



● Welcome Week

8月13日に成田空港を出発し、シカゴそしてデトロイトへ、合計20時間近くの1人旅となりました。初めて1人で航空券を購入したり、乗換があったりと出発前から緊張がある旅になったなと感じています。シカゴからデトロイトまでの乗換で乗るはずだった飛行機を逃してしまうというアクシデントが起こっていましたが、予定より2時間遅れてデトロイト空港に到着しました。デトロイト空港にはフィンドレー大学の学生が迎えに来てくれ、荷物運びまで手伝ってもらいました。

そして到着2日後から **Welcome Week** が始まりました。授業が始まるまでの5日間、新入生に向けたオリエンテーションやイベントが行われました。オリエンテーションでは、フィンドレー大学についての様々な説明を聞いたり、IDの登録を行ったり、新生活に向けての準備が出来ました。その中でも特に私のお気に入りのイベントはアーチセレモニーです。新入生はそのアーチをくぐることで **Oiler** としての新生活を始めることを意味しており、特に盛り上がっていたイベントであったように感じます。その他にも週末には学生が参加出来る多くのイベントもキャンパス内の至る所で開催されており、大学全体で新生活に向けて気持ちを高めていく雰囲気を味わうことが出来ました。



● 履修登録

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
	EDUC219-01 Phonics and Foundation of Literacy 9:30-10:45		EDUC219-01 Phonics and Foundation of Literacy 9:30-10:45	
ENIN450L-02 Writing Review for Non-Native Speakers I/Lab 12:00 - 12:50	SPAN120-05 Elementary Spanish 11:00-12:15		SPAN120-05 Elementary Spanish 11:00-12:15	
ENIN450-02 Writing Review for Non-Native Speakers I 13:00 - 13:50		ENIN450-02 Writing Review for Non-Native Speakers I 13:00 - 13:50		ENIN450-02 Writing Review for Non-Native Speakers I 13:00 - 13:50
		ENIN350-01 English for Specific Purposes 14:00 - 14:50		ENIN350-01 English for Specific Purposes 14:00 - 14:50
			ENGL145-13 College and Professional Reading 15:00 - 15:50	
JAPN240-01 Experiences in Japanese 16:00 - 17:00				

Welcome Week 中には、秋学期スタートに向けての履修登録も行いました。そして出来上がったのが左側の時間割です。日本の大学との違いとしては同じ授業が1週間の間に複数あったり、授業によっては授業時間の長さが異なったりするところとあります。

今期は、留学生対象の必修科目4つに加え、識字教育、スペイン語、リーディングの3つの学部生対象の授業を履修することにしました。授業に関する詳細は今後の報告書で記していきたいと思っております。

- 慈善活動について



これも **Welcome Week** 中の活動の1つなのですが、大学と地域との繋がりを感ずることの出来る慈善活動に参加しました。いくつかのグループに分かれて様々な活動が行われたのですが、私は経済的に生活が困難な方々に食材を供給する **Food bank** に参加しました。供給の時間の前から多くの方が列をなして、大量に用意していた食材も足りなくなるくらいでした。フィンドレー大学と地域との繋がりを感ずると同時に、アメリカという国が抱える問題について一部分見ることが出来たように感ずます。実際に現地に赴き、経験しないと分からないことなので、今後の生活において積極的にここでしか出来ないことを「経験」していきたいと思ひます。

最後まで読んで下さってありがとうございます。8月の報告は以上になります。